


令和5年度 こども・健康部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
こども・健康部長 土田 恵子 	<p>●使命 こども・健康部は、安心して子どもを出産し、子どもたちが健やかに育ち、笑顔で子育てできるまちを目指して、子どもと子育てを応援する環境づくりを推進します。 また、健康づくりについての正しい知識を持ち、乳幼児から高齢者まで、すべての市民が自分らしい豊かな人生を送れるよう、心と体の健康づくりを進めます。</p> <p>●基本方針</p> <p>① 行政機関や地域とのネットワークを充実させ、結婚、妊娠期から出産、子育て期にわたり、切れ目のない支援を提供します。</p> <p>② 市全体、地域全体での外遊びを通じて、人と人、人と地域がつながる場、みんなで子どもを育て自らも育つ環境づくりを推進します。</p> <p>③ 子どもを安心して預けられる保育園・こども園の整備・管理・運営や、放課後児童対策を充実することで、働きながらも安心して子育てできる環境づくりを推進します。</p> <p>④ 市民が自分らしく豊かな人生を送ることができるよう、地域ぐるみで心と体の健康づくりを推進します。</p> <p>⑤ 岡山県や備前保健所、関係機関等と連携して感染症に係る情報を収集するとともに、市民への感染予防策の普及啓発により、感染症対策を推進します。</p>	所管課	こども家庭課（公立保育園こども園）・健康づくり推進課		
		人 員	正職員	会計年度職員	合計
			111人	119人	230人
		一般会計	2,999,575 千円		
		特別会計	— 千円		
		計	2,999,575 千円		
		(うち人件費)	(971,149 千円)		

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
1	<p>結婚から子育て期にわたる切れ目ない支援の提供</p> <p>次世代が安心して子育てできる環境づくりを目指して、結婚支援を推進します。</p> <p>子育て中の世帯の孤立化や児童虐待を予防するため、関係機関との状況共有会議を実施し、家庭の事情に合った支援を行います。</p>	<p>住宅取得費用などの結婚に伴う費用の一部を補助する結婚新生活支援事業により経済的な理由で結婚に踏み切れない若者を支援します。また、縁結びサポーターによる相談会を実施し、結婚を希望している方やその親を支援します。</p> <p>補助金交付件数 6件 相談会実施回数 4回 相談者数 20人</p> <p>要保護児童対策地域協議会において、警察、児童相談所、教育委員会等と情報を共有しながら、見守りを行います。また、その中で個別の会議を適時開催し、改善方策を協議し、状況の改善に努めます。さらに、協議会の構成機関について再検討し、現状に合わせたネットワークを構築します。</p> <p>代表者会議 年1回 実務者会議 年12回 個別ケース検討会議 年30回</p> <p>ヤングケアラー支援に関して、関係機関と定期的に共有会議を行い、支援体制の強化と支援の充実を図ります。</p> <p>会議の回数 年3回</p>	<p>住宅取得費用などの結婚に伴う費用の一部を補助する結婚新生活支援事業により経済的な理由で結婚に踏み切れない若者を支援しています。</p> <p>また、縁結びサポーターによる相談会を実施し、結婚を希望している方やその親を支援しています。</p> <p>1月末補助金交付件数 9件 1月末相談会実施回数 3回 1月末相談者数 10人</p> <p>要保護児童対策地域協議会において、警察、児童相談所、教育委員会等と情報を共有しながら、見守りを行っています。また、その中で個別の会議を適時開催し、改善方策を協議し、状況の改善に努めています。</p> <p>さらに、現状に合わせたネットワークを構築するため、協議会の構成機関について再検討しています。</p> <p>1月末代表者会議 1回 1月末実務者会議 10回 1月末個別ケース検討会議 19回</p> <p>ヤングケアラー支援に関して、関係機関と定期的に共有会議を行い、支援体制の強化と支援の充実を図っています。</p> <p>1月末会議の回数 2回</p>

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
1	<p>ひとり親家庭の自立を支援するため、多面的な支援に努めます。</p> <p>こどもが地域と繋がりを持ちながら、様々な交流や支援を通じて、安心して過ごすことができるよう、居場所づくりを行います。</p>	<p>経済的自立と安定を図るため、ひとり親家庭の相談体制の充実を図り、各種支援事業を実施します。</p> <p>ひとり親相談から自立支援サービス等につながった件数 3件</p> <p>こども食堂の立ち上げ・運営を行う団体への助成を行い、安定的な実施環境を整備します。事業の実施団体への支援については、社会福祉協議会へ委託します。</p> <p>実施団体 3団体</p>	<p>経済的自立と安定を図るため、ひとり親家庭の相談体制の充実を図り、各種支援事業を実施しています。</p> <p>1月末ひとり親相談から自立支援サービス等につながった件数 2件</p> <p>社会福祉協議会へ委託し、こども食堂の立ち上げ・運営を行う団体への助成を行い、安定的な実施環境を整備しています。</p> <p>1月末実施団体 3団体</p>
2	<p>地域全体での子育て環境づくりの推進</p> <p>外遊びを通じて、子どもの健全な発育を促し、子育て不安の解消に努めます。また地域で外遊びを実施することにより、地域住民全体が子育てに関心を持つことで、安心して子育てができる環境づくりを推進します。</p>	<p>みんなでつくる瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づいた、こどもひろばの開催を社会福祉協議会へ委託し、地域主体のこどもひろば開催を支援します。</p> <p>また、全天候型の遊び場「こどもパーク」の整備に向けて、昨年度策定した「こどもパーク整備基本構想」を基に、設計業務を実施します。</p> <p>開催回数 年間145回 うち地域主体 57回 参加市民の数 年間6,875人 うちボランティア 250人</p>	<p>みんなでつくる瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づき、こどもひろばを開催しています。</p> <p>また、昨年度策定した「こどもパーク整備基本構想」を基に、「こどもパーク整備基本計画」を策定しました。</p> <p>開催回数 143回 うち地域主体 82回 参加市民の数 5,524人 うちボランティア 527人</p>

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
<p>3</p> <p>子育て環境の充実</p>	<p>仕事と子育てが両立できる環境を目指して、保育園・こども園・放課後児童クラブの施設整備を推進するとともに、子どもを安心して預けられる保育園・こども園を管理・運営します。</p>	<p>保育園・こども園において、0～2歳児の年度途中の入園に対応できない状況が特に顕著な長船地区を中心に、民間の誘致も含め、施設整備を推進します。</p> <p>放課後児童クラブの利用ニーズの高い邑久小学校区において、民間の誘致も含め、整備を推進します。</p> <p>その他、長船西保育園のトイレの洋式化をはじめ、各保育施設や放課後児童クラブの修繕等を実施し、子どもたちが快適に過ごすことができる環境を整備します。</p> <p>また、教育・保育給付認定のほか、3～5歳児の幼児教育の無償化に係る施設等利用給付認定を安定的に行います。</p> <p>年度末待機児童 10人以下</p>	<p>保育園・こども園において、0～2歳児の年度途中の入園に対応できない状況が特に顕著な長船地区を中心に、民間の誘致も含め、施設整備を検討しています。</p> <p>放課後児童クラブの利用ニーズの高い邑久小学校区において、1クラブを整備しました。</p> <p>その他、子どもたちが快適に過ごすことができる環境を整備するため、長船西保育園のトイレの洋式化をはじめ、各保育施設や放課後児童クラブの修繕等を実施しています。</p> <p>また、教育・保育給付認定のほか、3～5歳児の幼児教育の無償化に係る施設等利用給付認定を安定的に行っています。</p> <p>1月末待機児童 5人</p>

	重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
4	心と体の健康づくりの推進	<p>安心して出産・育児できるよう関係機関等の多職種と連携して、切れ目のない相談支援体制を充実強化し、子どもたちの健やかな成長と子育てを支援します。</p> <p>働き盛りの世代が受診しやすい体制整備に取り組み、各種がん検診を実施し、働き盛りの市民の健康づくりを推進します。</p>	<p>妊娠期から子育て期において成長発達に応じた適切な相談支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時に保健師・助産師と妊婦の面談率 95%以上 ・乳児家庭全戸訪問実施率 90%以上 ・乳幼児集団健康診査受診率（乳児・1.6健・3健） 91%以上 ・母子健康手帳アプリ新規登録者数 80人以上 <p>受診機会や検診の必要性を広報周知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、市ホームページ、愛育回覧など広報活動 年5回以上 <p>個別検診や休日検診など受診しやすい体制を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん総合検診、休日・夜間に集団がん検診の実施 年4回実施 ・大腸がん検診受診者数 2,900人以上 ・乳がん検診無料クーポン利用率 25%以上 ・子宮頸がん検診無料クーポン利用率 10%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時に保健師・助産師と妊婦の面談率 96.8% ・乳児家庭全戸訪問実施率（R5.4～11月生まれ） 97.5% 未実施のケースについても、状況は全員把握しています。 ・乳幼児集団健康診査受診率（R5.4～R6.1月実施分） 乳児…95.2%（138人/145人） 1.6健…95.7%（176人/184人） 3健…96.3%（211人/219人） 上記3種の健康診査の受診率…95.8%（525人/548人） ・母子健康手帳アプリは、一部サービス機能が廃止されたため、月齢・年齢に合わせた市からのお知らせや各コンテンツ（記事）配信等の機能が終了となった。成長記録・健康記録等の電子母子手帳機能については、引き続き利用できます。 ・広報紙、愛育委員回覧版での広報活動 6回 ・がん総合検診 1回実施（9/11） 子宮頸がん58人、乳がん70人、大腸がん88人、胃がん33人、肺がん80人 延329人 ・夜間子宮頸がん、乳がん検診 2回実施（5/26・6/15） 5/26：子宮頸がん57人、乳がん64人 延121人 6/15：子宮頸がん56人、乳がん55人 延111人 ・休日子宮頸がん、乳がん検診 1回実施（11/3） 子宮頸がん51人、乳がん57人 延108人 ・大腸がん検診受診者数（1月末時点） 集団：2,110人 個別：177人 計2,287人 ・乳がん検診無料クーポン（1月末時点） 利用者数：34人（内訳：集団18人・個別16人） 利用率：17.3%（34人/197人） ・子宮頸がん検診無料クーポン券（1月末時点） 利用者数：11人（内訳：集団2人・個別9人） 利用率：6.2%（11人/177人）

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）						
4	<p>不安や悩みを抱える人が、かけがえのない命を大切に、早期に相談につながり、自分らしく安心して生活できるよう、こころの健康づくりを推進します。</p> <p>健康増進や食育の重要性について普及啓発活動に取り組み、市民の健康づくり活動や意識啓発を進めます。</p>	<p>不安や悩みを抱える人への対応や支援や、正しい情報発信に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談開催 年12回 ・こころの相談開催の広報活動や情報発信 年20回以上 ・保健師相談（面接） 延200人以上 <p>健全な食生活に関する情報を提供し、食育活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年6回以上の情報発信 ・栄養指導の実施人数 延2,000人以上 <p>愛育委員協議会、栄養改善協議会の組織と協働して健康教育事業に取り組みます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 年200回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談 9回実施。 広報紙掲載 11回 市HP掲載 2回 愛育委員協議会回覧掲載 5回 保健師面接 延84件 <p>「食育サブサイト」を作成し、2月から市のホームページに公開する予定です。レシピの他、講座・教室情報、ライフステージ別情報等、計8つの大項目を設定し、食に関する情報を掲載します。今後随時更新を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導実施人数 <table border="0"> <tr> <td>乳幼児・学童期：</td> <td>981名</td> </tr> <tr> <td>成人期</td> <td>： 765名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1746名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・地区で健康に関する広報活動188回 乳幼児健診での健康教育80回 地域で健康教育15回 学校での健康教育：小学校1回・中学校5回・高校1回 	乳幼児・学童期：	981名	成人期	： 765名	計	1746名
乳幼児・学童期：	981名								
成人期	： 765名								
計	1746名								

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
5	<p>感染症予防策の普及啓発による感染症対策の推進</p>	<p>乳幼児の定期予防接種に加え、追加的対策の風疹予防接種、子宮頸がん予防接種など各種予防接種の実施に速やかに取り組み、感染症対策をより一層推進します。</p> <p>感染症の正しい知識を持ち、予防対策に継続して取り組めるよう、正しい知識や新しい情報を随時、提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ作成、市ホームページ、広報、LINEへの掲載等での情報発信 年12回以上 <p>各種予防接種を積極的に推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん予防接種者数 延350人以上 ・風しん追加的対策での風しん抗体検査者数 100人以上 風しん予防接種者数 50人以上 	<p>感染症に関する広報周知、情報発信状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙掲載 4回（内訳：感染症対策3回、コロナ1回） ・市HP掲載 32回（内訳：感染症対策2回、コロナ30回） ・LINE掲載 3回（内訳：感染症対策1回、コロナ2回） <p>・子宮頸がん予防接種者数 実施期間 R5. 4. 1～R5. 12. 31 接種延人数（実人数）延 238 人（実 165 人） 〔内訳〕 定期接種 延 87 人（実 59 人） キャッチアップ接種 延 151 人（実 106 人）</p> <p>・風しん追加的対策での風しん予防接種者数 実施期間 R5. 4. 1～R5. 12. 31 抗体検査者数 74 人 予防接種者数 24 人</p>